

現代教育事情

⑥

教科書検定 は闇の中

しないようにしています」
平野「非公開ですね」
担当官「はい」・これは
闇。

闇の中、靖国派が

嘘を真実と言わないで

いでしようか。

沖縄で九月二十九日「教科書検定意見撤回をもとめる県民集会が開かれ十一万人が参加しました。復帰後最大の抗議集会となり「軍強制記述回復」を決議しました。

教科調査官になるには

平野「高校生からの質問ですが、大きな権限をもって



抗議集会の様子（宮村みつお氏提供）

いる教科書調査官になるには国家公務員の試験を受けるのですか。特別の試験があるのですか」

担当官「人数は現在五十八名です。各教科一人から三人です。試験はございません。調査官のOB審議会のメンバーからの適任者、学会などの推薦などで書類選考、面接を複数行い決めています」

平野「身分は公務員ですね。課長職待遇ですか。定年もあるのですか」

担当官「課長相当職です。定年まで調査官をされる方もいますが、在職中に転出先を見つける方もおられます。大学、研究所などです」

平野「大学の先生が多いのですか」

担当官「教育現場経験者が多くいます。高校の先生も

います」

平野「沖縄に行って現地調査をするなど、調査官のもとに調査活動する要員はどのようになっているのですか」

担当官「直接調査活動をサポートする人はいません。事務職員が事務の処理はします」

平野「調査官が一人の教科の場合、単独で判断するのはですか」

担当官「審議会の中の専門委員と話し合います」

平野「審議会委員名はホームページで公開されていますが、近現代史、沖縄の歴史を専門にされている方はどなたですか。沖縄戦を専門にされている方はどなたですか」

担当官「それは個人の問題になりますので、明らかに

琉球新報は次のように報じました。「教科書調査官の一人が、『戦争賛美』などの批判がある『新しい歴史教科書・改訂版』（扶桑社）の監修者と同じ研究グループに属していたことが分かった。同教科書の関係者が検定過程にかかわっていたことで、その中立性が問われそうだ」

「伊吹文明文科相は4月の衆院教育再生特別委員会で「教科書調査官はこの団体でだと勉強している」と、教科書検定とは何の関係もない」と中立性を強調していた」と。これはまさに詭弁です。教育基本法、教育三法改定の中心人物、伊吹氏を福田総理は幹事長に据えました。憲法改定を教育から進める人事ではな

に据えました。憲法改定を教育から進める人事ではな

「刃野古に基地は作らせない」運動に対して自衛艦が出動しました。歴史を繰り返させてはなりません。『学ぶとは、真実を胸に刻むこと。教育とは、ともに未来を語ること』

（教育アナリスト）

現代教育事情

7

教科書検定 闇の中から

捕虜になることは恥だと教育されてきたこと、米軍に捕まるとひどい目にあわされて殺されると叩き込まれていたこと、住民が『自決』を決意したきっかけが『軍命令』であったことなども指摘し、さらに日本軍がいなかった島々では米軍が上陸しても『集団自決』がおきていないことを検証し、結論として『集団自決』は文字どおりの『自決』ではなく、日本軍による強制と誘導によるものであること、責任を負う官庁がおこなうことなのでしようか。こうした詐欺的手法で押し付けられた検定意見をそのままにして正誤訂正でごまかそうとすることは決して認められるわけにはいかない。文科省は、著作を歪曲し間違った検定をおこなったことを認め、検定意見をただちに撤回すべきです」と。
今、まさに真実は力。
(教育アナリスト)

検定意見にその場で対応

教科書執筆者を文科省に呼び出して、調査官の検定意見を伝えます。日本史であれば古代から現在まで二時間で対応が求められ、研究資料を確かめ対応する時間が与えられないとのことです。

この席で文科省の調査官は、「林博史先生の『沖繩戦と民衆』(大月書店)を見ても、軍の命令があったというような記述はない」として、日本軍の強制を削除させる根拠にしたという。そこで拒否すれば検定不合格となり、検定済み教科書とはなりません。

著者 林博史氏

無念の思いに

ある筆者は帰宅後、前掲書を取り出してみると「い

関東学院大学教授。日本近現代史専攻とくに日本軍の残虐行為の研究では知られています。前掲書で伊波普猷賞(沖繩タイムス主催)を受賞しました。伊波氏は沖繩の生んだ最大の思想家といわれています。

直接お聞きしました

平野「最も許せないことは」

林教授「私個人の問題では

ありません。沖繩の人々の

心を踏みにじっています。それに私の名前と著書を使ったことです」

平野「今回の意見書が従来と異なる点は」

林教授「たとえば、南京大虐殺に関しては右翼的な本を根拠にしましたが沖繩に関してはそのような本がありません。そこで私の著書をねじ曲げて根拠としていることです。これも許せないことです」

ねじ曲げたこと

調査官は旧知のひと

平野「日本史の調査官はど

のような方ですか」

林教授「東京大学の国史学科(当時)の研究室が同じ



平野「最も許せないことは」
林教授「私個人の問題ではありません。沖繩の人々の心を踏みにじっています。それに私の名前と著書を使ったことです」

平野「最も許せないことは」
林教授「私個人の問題ではありません。沖繩の人々の心を踏みにじっています。それに私の名前と著書を使ったことです」

平野「今回の意見書が従来と異なる点は」
林教授「たとえば、南京大虐殺に関しては右翼的な本を根拠にしましたが沖繩に関してはそのような本がありません。そこで私の著書をねじ曲げて根拠としていることです。これも許せないことです」

平野「日本史の調査官はど
のような方ですか」
林教授「東京大学の国史学科(当時)の研究室が同じ

平野「当面の取組みで大切なことは」
林教授「文科省は執筆者を騙し、検定意見を押し付けました。これが教育に責任を負う官庁がおこなうことなのでしようか。こうした詐欺的手法で押し付けられた検定意見をそのままにして正誤訂正でごまかそうとすることは決して認められるわけにはいかない。文科省は、著作を歪曲し間違った検定をおこなったことを認め、検定意見をただちに撤回すべきです」と。
今、まさに真実は力。
(教育アナリスト)

現代教育事情

8

学力テスト 結果公表

文部科学省は十月二十四

日、四月の全国学力テストの結果を公表しました。小学六年生と中学三年生を対象に国語・算数・数学で実施したものです。

5紙(25日付)の見出し

【読売】基礎できても応用苦手・中学は地域格差も・「成績」笑顔と落胆・各自治体「指導の成果」「残念」沖縄最下位に衝撃・(福岡)県内平均正答率全科目で全国平均下回る・社説 宝の持ち腐れにしてはならない

【日経】知識の活用力に課題・正答率六―七割地域間

でばらつき・「ゆとり」弱点鮮明に・基礎と応用の正答率10ポイント以上開く指導への活用課題・テストの性格あいまい・調査結果、現場ともズレ・きちんと生活成績良く・朝食食べるのは「正解」・社説 テスト結果だけにこだわるな

【毎日】基礎は定着も応用難あり・地域間の格差は縮小傾向・秋田トップ沖縄最下位なぜ・経済的格差が影響?戦後状況にハンデ?・「過度の競争あおる」四市は非公開・情報読み取る力に課題・「考えるゆとり減った」「勉強が好き」増える・長くなった家庭学習・補充学習サポートへき地は

【朝日】知識の活用力課題・正答率に地域差も・発表が遅すぎる・「活用」効果に疑問の声・独自に公表の自治体も「学校格差拡大に懸念」「家庭・地域でも活用を」教育現場、困惑と注文調査のあり方再考を・朝食食べる子、高得点・ゲーム好きは低い傾向・(就学)援助者多い学校ばらつ

【西日本】学力の地域差小幅・所得で正答率に差・基礎堅調応用劣る・格差拡大へ警戒必要 社説 文科省の宿題こそ重い

【西日本】学力の地域差小幅・所得で正答率に差・基礎堅調応用劣る・格差拡大へ警戒必要 社説 文科省の宿題こそ重い

秋田県には田沢湖、十和田湖、八郎潟があります。そして秋田杉。「ムーミン」の国フィンランド。共通しているのは森と湖です。フィンランドはOECDの学習到達度調査で世界一。少人数学級、成績に序列もつけていない。年間授業時数は世界最低、図書館も充実しているという。今回の学力テストでトップの秋田県との共通点は? 根岸均教育長の見解を毎日新聞は次のように伝えていました。

「成績が悪いと学校や学級担任はレポートを出させられます。意に沿わない内容であれば返されます。JR西日本の日勤教育と同じことが行われています。また、成績の良い学校はそれを維持する対策をレポートで求められています」「冬休みに市内小中学校の全教師が集められ成績向上を誓わされている市もあります」

秋田の学校現場の教師の証言を紹介します。「一位と聞いて職員室で先生方は吹き出しました。予備テストを繰り返してきたからです」「平均点が悪いと市町村の教育長が県の教育長から厳しく怒られます。市町村教育長は校長をしめる、校長は学級担任を・・・という連鎖です」「七年テスト体制は続いています。校長が教室にきて答案を指さしたり教えたりしています」

「成績が悪いと学校や学級担任はレポートを出させられます。意に沿わない内容であれば返されます。JR西日本の日勤教育と同じことが行われています。また、成績の良い学校はそれを維持する対策をレポートで求められています」「冬休みに市内小中学校の全教師が集められ成績向上を誓わされている市もあります」

「校長も含めてこんなテストを止めて子どもたちをしっかりと成長させる納得のいく教育をしようとの声が出ています」

25日付社説は学力テストに対する見解と共に、相次ぐ偽装、食品表示への信頼回復急げ(日経)。食品偽装 消費者を裏切ったツケは大きい(読売)の論陣を、偽装は食品だけではなくです。

(教育アナリスト)

現代教育事情

9

学力テスト 結果公表

を 実行 (Do) し、評価 (Check) して改善 (Act) に活かす。デミングサイクルとも呼ばれる工場管理手法です。

点数・数値のみ信頼？

【朝日】秋田が好成绩だったわけは・熱心な教師と子ども地域や家庭の支え・小

とです。調査の目的として「全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することに

日)は荻谷剛彦・東大教授に聞いた。として、次のように報じています。

学力テスト体制準備

③ 地方教育行政法
教育委員会にたいする

子どもたちの学力低下という世論がつくられ、安倍・晋三前首相は「教育再生待たなし」と、教育基本法・教育三法を改定しました。

【朝日】小六、全科目一位・中三もトップクラス・「びっくり」「本当？」県内

「非常に「解像度」の低い調査結果だ。学校同士を競い合わせて学力を向上させようとする政治的思惑と、序列化の弊害を心配、教育界からの批判の両方に配慮した妥協の産物ゆえに肝心の狙いがばやけてしまった」

「非常に「解像度」の低い調査結果だ。学校同士を競い合わせて学力を向上させようとする政治的思惑と、序列化の弊害を心配、教育界からの批判の両方に配慮した妥協の産物ゆえに肝心の狙いがばやけてしまった」

① 学校教育法改定
幼稚園、小、中学校に副校長、主幹教諭、指導教諭などの新しい職を置くことができるようにしました。

「是正・改善」の指示、「是正の要求」などを新たに入れました。地方教育委員会の活動状況の点検・評価を行うこととしました。ここに全国一斉学力テストの結果に對する評価が求められることは充分予想されます。

文部科学省は十月二十四日に全国一斉学力テストの結果を公表しました。そこには学力低下論の根拠は見当たりにません。

関係者喜びと驚き・「地道な努力」が結果？・県教委検証委つくり結果分析・県内各地で「事前準備」秋田市内小中学校模擬問題つくり練習も

成果と課題を検証し、その改善を図る」「各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図る」としています。

「非常に「解像度」の低い調査結果だ。学校同士を競い合わせて学力を向上させようとする政治的思惑と、序列化の弊害を心配、教育界からの批判の両方に配慮した妥協の産物ゆえに肝心の狙いがばやけてしまった」

これら人材派遣会社などから教員を受け入れる準備とも考えられます。学校は文部科学大臣の定めるところにより教育活動・学校運営の状況について評価をおこない教育水準の向上に努めるとされました。全国一斉学力テストの結果を学校評価に入れることができるようにしました。

豊かな学びを育む学校づくりが、今求められています。(教育アナリスト)

新聞「秋田県版」見出し

調査に事前準備必要？

【読売】まじめな秋田っ子・全国学力テスト調査で浮き彫り・早寝早起き学習復習―好成绩の原動力

全国一斉学力テストは文部科学省が実施する「全国学力・学習状況調査」のこ

調査です。入学試験や資格試験とその目的が異なります。模擬問題などで事前準備は判断を誤らせることになりかねません。

PDCAとは、計画(Plan)

② 教育職員免許法改定
教員免許状に十年の有効

期間を定めました。申請により更新できるとしました。その際三十時間の講習修了が条件となり認定試験も検討されています。教員にとっては脅迫とも言えるものです。

秋田魁新報(十月二十五)

秋田魁新報(十月二十五)

秋田魁新報(十月二十五)

秋田魁新報(十月二十五)

秋田魁新報(十月二十五)

秋田魁新報(十月二十五)

現代教育事情

10

競争と 序列化

テスト関連記事9頁

踊らされないで

「全国学力・学習状況調査」いわゆる全国学力テストの結果が十月二十四日公表されました。沖縄県の地方紙「琉球新報」二十五日付は一面トップで次のように報じています。

琉球新報十月二十五日付の学力テスト関連記事の主な内容を紹介します。

琉球新報・全国テストの波紋「学び」再考より「宜野湾市内の小学校でPTA会長を務めたこともある玉

元一恵さん(47)は、同テストの対象にもなった小学六年生の娘が先日、学力テストについてポソツと話したのを思いだした。学力テストの結果をラジオで

知った後、その日の夕食で娘に「どう思うの」とあらためて聞くと、何も言わなかった。しかし、その後

「自信をなくしそう」と言う言葉を聞き、玉元さんは「そんなことないよ」と励ました。玉元さんは「課題

に限界／「家庭一体の対応を懸念される競争激化／問われる大人社会／沖縄除き地域差小／所得差が学力差に結果活用課題多く／就学援助多いほど低下／現場

「指導に生かせず」継続実施に疑問の声も／各県教委、県民性、蓄積、私立校優位・受け止め方さまざま／施策への有効性不透明

学校、教員評価に直決せず測れるのは学力の一部

テストの結果をラジオで知った後、その日の夕食で娘に「どう思うの」とあらためて聞くと、何も言わなかった。しかし、その後

「自信をなくしそう」と言う言葉を聞き、玉元さんは「そんなことないよ」と励ました。玉元さんは「課題



「指導に生かせず」継続実施に疑問の声も／各県教委、県民性、蓄積、私立校優位・受け止め方さまざま／施策への有効性不透明

学校、教員評価に直決せず測れるのは学力の一部

福岡県では十一月九日の県教育委員

会会議に概要報告がされました。国語／算数・数学について全国の平均点と比較して見解が示されました。学校質問紙の結果について福岡県の特徴として次の項目があげられていました。

○国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業をよく行った学校の割合が、福岡は四三・三％であるのに対して、全国は五三・四％。

○数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)をよく与えた学校の割合が、福岡は二七・八％。全国は三九・五％。「踊らされないで」は福岡県でも。

助け合っ力を

二十一世紀は学力・生きる力を社会で生かす協同の力が求められています。全員を対象にした全国学力テストは「百害有って一利なし」止めましょう。

(教育アナリスト)